



# 博物館通信

春号

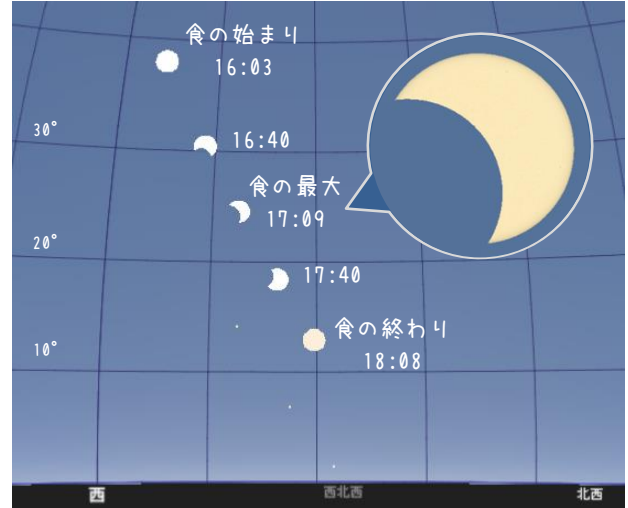


2020年4月発行 Vol.75

## 6月21日(日)に「部分日食」!!

今年の「夏至」にあたる6月21日に「部分日食」が起こります。昨年は、1月と12月の2回の部分日食が起こりましたが、どちらも天気が悪く残念な結果に…。今年、日本で見ることのできる日食は1回のみ。しかし、梅雨の時期…。晴ればいいのですが。今回を逃がすと次に岡山で見えるのは10年後の2030年!?

浅口市では、16時3分ごろから食が始まり、最も欠けるのは17時9分ごろです。その後、18時8分ごろに日食は終わります。

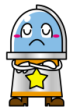


6月21日の部分日食 浅口市にて  
(ステラナビゲータで作成)

### 日食??

太陽 - 月 - 地球と一直線に並び、月が太陽を隠す現象。

太陽の全部が隠される現象を「皆既日食」、太陽を隠しきれず輪のように見える現象を「金環日食」、太陽の一部が欠けて見える現象を「部分日食」といいます。



### 日食が起きる 太陽ってどんな星なの?



太陽を直接見てはいけません。  
専用の日食グラスを忘れずに!!

<p><b>大きさ</b></p> <p>直径 約 140 万 km (地球の約 109 倍)</p> <p>地球が約 109 個ならぶ</p>	<p><b>重さ</b></p> <p><math>2 \times 10^{30}</math> kg (地球の 33 万倍)</p>	<p><b>地球からの距離</b></p> <p>約 1 億 5000 万 km</p> <p>光の速さ(秒速 30 万 km)で 8 分</p> <p>新幹線(時速 270km)で約 63 年</p> <p>飛行機(時速 900km)で約 19 年</p>
<p><b>温度</b></p> <p>中心 約 1600 万度</p> <p>表面 約 6000 度</p>		

### 太陽は活動している?

太陽は、おもに水素やヘリウムといったガスでできている、自らが輝いている「恒星」です。

太陽の表面では、周りより温度が低いため黒く見える「黒点」や温度が高いため白く見える「白斑」、爆発現象の「フレア」、うすいガスの「プロミネンス」などいろいろな現象が起こっています。皆既日食のときには、太陽表面を取り囲むように広がっているうすいガスの「コロナ」を肉眼で見えることもできます。

### 太陽にシミ?

太陽の表面に現れ、黒いシミのように見える模様を「黒点」と言います。黒点は、約 4000 度と周りより温度が低いため黒く見えています。黒点の形や大きさは毎回違い、見えている期間も違います。

黒点の数は約 11 年の周期で増えたり減ったりしており、太陽活動が激しい「極大期」には黒点の数も多く、活動が落ち着く「極小期」には数が少なくなります。

今は、極小期で黒点やプロミネンスが見えない日も多いんだ…





国立天文台

188cm 反射望遠鏡

&

岡山天文博物館

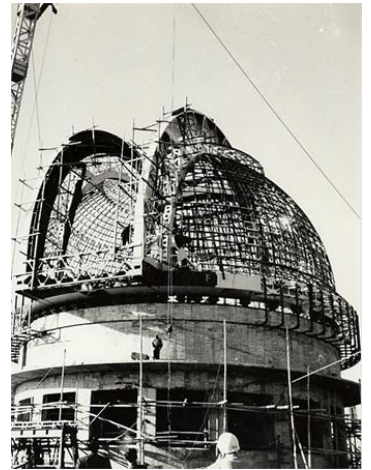
60周年



Part 1



博物館の隣には、国立天文台の 188 cm 反射望遠鏡と京都大学の 3.8m 望遠鏡の 2 つの大きな望遠鏡があります。その 1 つ、国立天文台の 188 cm 反射望遠鏡と岡山天文博物館は、今年で 60 周年を迎えます!!



建設の様子

提供:国立天文台

1960 年 10 月 「東京大学 東京天文台 岡山天体物理観測所」として完成。

11 月 「岡山天文博物館」 開館。

1962 年 本格的に観測が開始。

1988 年 東京大学から国立天文台の天文台「国立天文台 岡山天体物理観測所」へ。

2018 年 3 月 国立天文台のプロジェクトとしての利用は終了。

2018 年 4 月 大学研究者や浅口市が運用費を出しあい利用開始。

完成当時、東洋一の大きさをほこる 188 cm 反射望遠鏡と国産初的大型望遠鏡 91 cm 反射望遠鏡を備えた天文台でした。のちに、65 cm クーデ型太陽望遠鏡や 50 cm 反射望遠鏡も作られ、多くの研究がされてきました。

60 年たった現在も国内で 3 番目の大きさをほこる 188 cm 反射望遠鏡で、様々な国の研究者が日々観測を行っています。これまでに 188 cm 反射望遠鏡で、“国内で初めての太陽系外惑星の発見” や “約 131 億光年かなたの星の光を観測” などの成果があります。

次回 (Part 2)

「なぜ浅口市に建てたの??」



## 大事なお知らせ

※詳しくは当館 HP をご覧ください

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館していましたが、

**5月28日(木)より開館**します。

プラネタリウムおよび4次元デジタル宇宙シアターは

**6月2日(火)より再開**します。

なお、入館およびプラネタリウム等の見学については、  
人数制限等の条件を設けさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。

※今後の状況により、開始時期などが変更することがあります。

ご来館の際にはご確認をお願いいたします。



プラネタリウム番組

**6/2(火)より再開**

※人数制限を行います。

※開始時間などは当館 HP でご確認ください。

※再開時期が変更になる場合があります。



「宇宙のふしぎ

もしも!宇宙が〇〇だったら!？」

制作:神戸市立青少年科学館  
コニカミノルタプラネタリウム

岡山天文博物館

〒719-0232

岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5

TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

